

モダナイゼーション・ ファイナンス・サービス

ソリューション概要のご紹介

モダナイゼーション実現に向けて こんなことをお困りではありませんか

初期費用



システム導入時の
初期費用の確保が
難しい。

二重支払い



システム移行時に現行シ
ステムの運用費用と新シ
ステムの初期費用の二重
支払いの負担が大きい。

リソース管理



契約や資産、減価償却
といった管理業務の煩
雑化が予想できる。

移行費用



現行システムにおける
全期間固定金額での支
払継続が負担になって
いる。

モダナイゼーションに特化したファイナンスサービスを提供することで、
プロジェクトで発生しうる費用面でお困りのお客様課題を解決します。



モダナイゼーション・ファイナンス・サービスとは

モダナイゼーションにおいては、システム更改に関する開発・構築などの費用に加えて、ハードウェアやソフトウェア、ライセンス、ミドルウェア、保守、運用、サポート費用など多岐にわたるこれらの費用全てを対象とし、月額払いのファイナンススキームで、お客様の課題を解決し、以下のメリットでお客様のモダナイゼーションを強力に推進します。

- 高額な初期費用を月額化し、平準化
- 新旧システムの二重費用発生を回避
- 複数の仕入先との契約・支払いを一本化
- 移行進捗に合わせ、段階的な費用減額も可能

これにより、**お客様の費用負担を最適化**し、モダナイゼーションをスムーズに支援します。

初期費用平準化



新システム導入時の一時費用の財務インパクトを緩和します。

二重支払い回避



移行時の現行システムと新システムの二重にかかる費用を回避します。

契約窓口・支払い一本化



契約窓口・支払いの一本化を実現することで、作業負担を軽減します。

段階的な費用減額



移行計画に合わせて現行システムの契約を見直し、費用を減額します。



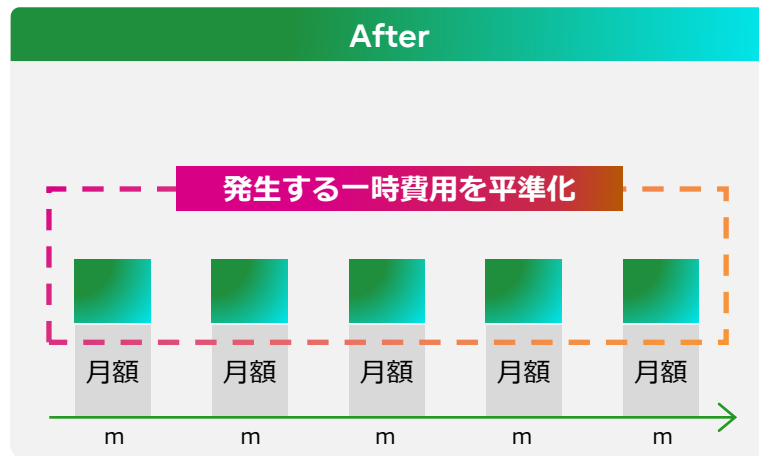
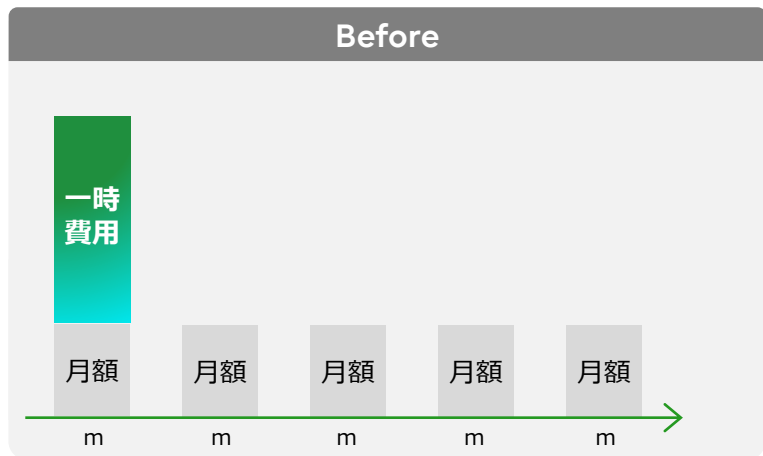
お客様へ提供する価値とサービスの4つの特長

モダナイゼーション・ファイナンス・サービスは、開発・構築から運用まで、モダナイゼーションの全フェーズに必要となる費用を対象に、月額課金や従量課金、段階的に費用を増減させるなど、お客様のニーズに合わせた支払い形態を選択することができるサービスです。



1. モダナイゼーションに伴うすべての初期費用を平準化

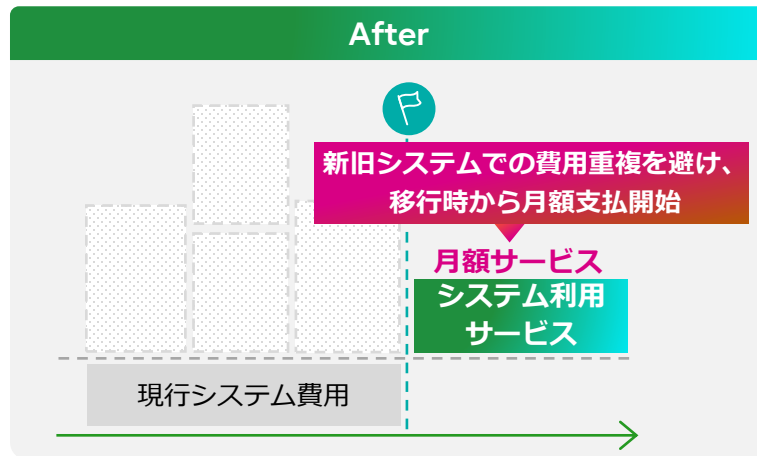
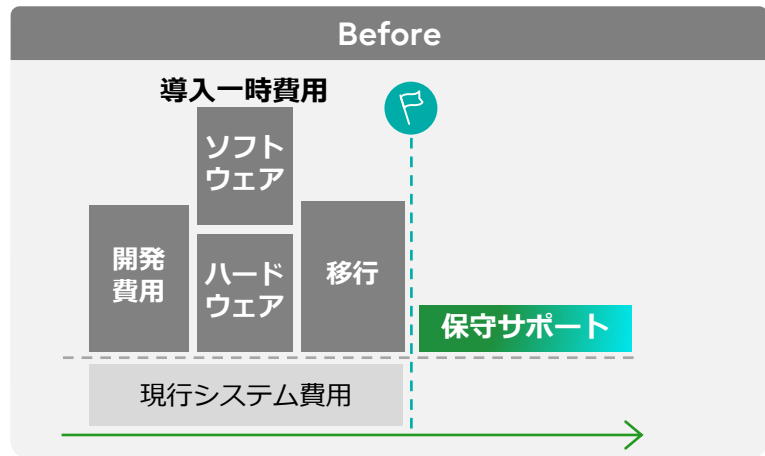
これまで一括での支払いが必要だったハードウェア、ソフトウェア、ライセンスなど、システムのモダナイゼーションに伴う初期費用を平準化することで、高額な初期費用の負担によるキャッシュフローの悪化を防ぐことができます。





2.新旧システム費用の二重支払い回避

従来、システム移行時は、現行システムの運用費と新システム導入時の初期費用が二重に発生し、お客様の負担となっていました。本サービスでは、新システムの費用請求を移行完了後に開始とすることで、新旧システム費用の二重支払いを回避します。





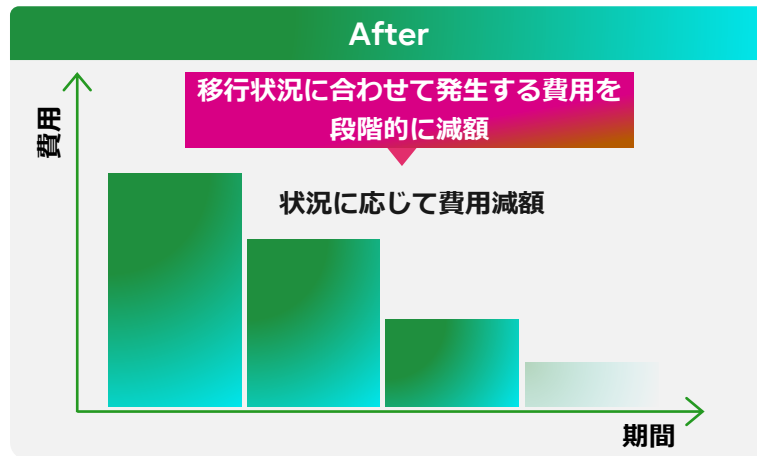
3. 契約や支払いを一本化し、管理業務負荷を軽減

機器の調達やシステム開発など発注先が複数になることから、契約や資産、減価償却といった管理業務が煩雑化し、多大な時間を要していました。契約窓口・支払いの一本化を実現することで、管理業務の作業負荷を軽減します。



4. モダナイゼーション移行元システム費用の段階的な減額

現行システムは移行工程ごとの細かな発注や検収が難しいことから、全期間固定金額での契約が主流となっています。本サービスのオプションとして、モダナイゼーションの移行状況に合わせて、現行システムの契約を見直すことで、段階的に費用を減額します。



更に詳しい情報はこちら



モダナイゼーション・ファイナンス・サービスの詳しい情報をご確認ください

モダナイゼーションを推進する
ファイナンスサービスご紹介

モダナイゼーション・ファイナンスサービス
ご紹介

富士通株式会社

コスト面の課題に対する解決のポイント

モダナイゼーションの各検討段階におけるコスト面の課題

初期	中期	完了期
<ul style="list-style-type: none">企業価値向上のための準備	<ul style="list-style-type: none">経営陣の意思決定が必要実行計画が実行される	<ul style="list-style-type: none">設備費用がオーダー在庫削減が完了設備稼働による稼働率向上が完了

解決のポイント

- 一括払いではなく、経費の発生で支払いを分散化することで、キャッシュフローの負担を軽減
- 富士通の費用負担期間短縮もシステム導入の導入時期にすることで、システムの利用の二重払いを回避
- 資産ではなく経費負担期間（「オペラント」）にすることで、経営負担の改善も期待可能

このように取り組むことで、お客様社内の業績向上につながります

これらはモダナイゼーション・ファイナンス・サービスによって解決できます

資料をダウンロード

モダナイゼーションに関するお問い合わせ・ご相談

Webでのお問い合わせ

お問い合わせフォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております。

ご不明な点やご要望などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

Road to 3X

Modernization

富士通の豊かな知見を束ねた、モダナイゼーションが示す道
DX SX GXまで伴走します。